

昭和44年度福島県体育功労者

氏名	年齢	住所	活動状況、主な功績
鈴木 源六	65	福島市	大正12年郡山金透小学校訓導～昭和43年3月福島大学(教授)退官まで長期にわたり本県体育の振興に貢献した。この間昭和22年県排球協会を設立し、初代会長として社会体育の発展にも尽力している。
上野 由美	59	"	昭和6年野球福島クラブ員として活躍、昭和8年都市対抗東北代表として全国大会出場、昭和21年県野球連盟常任理事、現在県野球連盟理事長、現在も県下各方部の講師として、野球審判の技術指導に貢献している。
笠原 善次	63	棚倉町	昭和初期より庭球・野球・自転車競技等各種スポーツを通じて青少年の健全育成につとめ、現在、棚倉町体育協会会長、県南野球連盟副会長として活躍し、スポーツ振興に尽力している。
塩川 五郎	64	会津若松市	大正13～昭和4年まで旧制三高、東大漕艇部員として活躍し、昭和25年に県漕艇協会の設立、漕艇場の開設に貢献した。昭和32年より現在まで県漕艇協会会長として、自費にて大学優秀選手 コーチの招へい等を行ない、県漕艇競技の振興に貢献し好成績を収めている。
小島忠左衛門	61	"	昭和24年～現在会津バドミントン協会会長、昭和29年～現在県バドミントン協会会長、多年にわたり本県バドミントンの選手の育成にあたり、数多くの優秀選手を生むと共にバドミントンの隆盛を招いた。
市井 茂	60	いわき市	昭和24年軟式庭球平クラブ会長、昭和41年いわき市体育協会副会長、昭和44年～県軟式庭球連盟会長、多年にわたり軟式庭球の進展に尽力し、選手の指導、大会の運営をはじめ庭球場の建設などに貢献し好成績をあげている。また、いわき市体協副会長として地域体育の振興にも貢献。

同体育優良団体

団体名	代表者名	活動状況
いわき市田人町体育協	緑川不二男(農業)	町体育協会は、町内8地区の町民によって組織され、春季野球大会にはじまる年11回の行事を中心として、住民のスポーツ活動が盛んであり、健全な町民育成に実績をあげている。
浪江町体育協	佐藤 秀親(米穀商)	昭和33年結成以来組織の拡大強化につとめ、現在町内6地区に14部門を設け、地区、職場、職域を一体として、各種の体育行事盛大に実施し好成果をあげている。

(2) 全国体育功労者・社会体育優良団体

昭和44年度の全国表彰は、10月9日国立教育会館において行なわれ、本県から平子忠氏、呉羽化学株式会社錦工場体育部が文部省から表彰された。

体育功労者

氏名	年齢	住所	活動状況、主な功績
平子 忠	65	福島市	昭和3年福島高商蹴球部主将、昭和23年県蹴球協会結成以来、現在まで会長として、蹴球の発展に貢献している。また、県体育協会常任理事・県スポーツ振興審議員として、県内スポーツ全般の育成・発展に尽力している。

社会体育優良団体

団体名	代表者氏名	活動状況
呉羽化学工業株式会社錦工場体育部	柴田 博(工場長)	昭和20年、戦後いちちはやくバレーボール部を設立し、現在13の部を有し、活動が活発で幾多の優秀選手を生み、県内実業団スポーツの雄となり、職場スポーツの発展の道標となっている。また、この体育部を中心として一般従業員もスポーツ活動も活発で、明るく健全な職場づくりに貢献している。

(3) 故松枝茂氏(明治31年5月20日～昭和44年12月19日)の叙勲について

前県柔道連盟会長松枝氏は、医師として多忙の身でありながら、労力を惜みず終始地方スポーツの振興に尽力し、青少年教育に貢献した。生前のこれらの功により、正六位勲五等双光旭日章に叙された。氏のおもな経歴は次のとおりである。

- 大正9年 千葉医学専門学校卒業
- 昭和15年～21年 会津柔道会副会長
- 昭和21年～37年 会津柔道会会長
- 昭和22年～41年 福島県柔道連盟会長
- 昭和24年～28年 東北柔道連盟会長
- 昭和24年～37年 会津体育協会会長
- 昭和26年 福島県体育功労者として知事・県教育委員会より表彰
- 昭和36年 地方体育功労者として文部大臣・国より表彰
- 昭和38年 会津若松市文化功労賞受賞

9 選手の強化

(1) スポーツセンター校の設置

昭和44年度、次の18高校、22種目をスポーツセンター校に指定し、当該種目の強化につとめるとともに、地域スポーツ振興のためその役割をはたした。

地区	学校名	種目名	地区	学校名	種目名
県北	福島農蚕高	馬術	いわき	小名浜高	相撲
	福島女子高	漕艇		磐城女子高	軟式庭球
	福島商業高	庭球		磐城第一高	卓球
県南	保原高	ソフトボール	相双	湯本高	剣道
	郡山商業高	陸上競技		磐城高	ウェイトリフティング
	白河女子高	フェンシング		双葉高	柔道
会津	白河高	バレーボール	相双	小高農高	ハンドボール
	若松商業高	サッカー		高小農高	ボクシング
	会津工高	水泳			
	猪苗代高	バスケットボール			
		自転車			
		スキー			

(2) 競技力向上指導者(トレーナー)について

競技力向上のためには、指導者の資質の向上、指導体制の確立などが必要である。昭和40年日本体育協会において、コーチ・トレーナー制度が制定され、昭和44年度までの本県関係資格取得者は次のとおりであり、県スポーツ進展の中核としての活躍が期待される。